

平成 30 年度（対象 29 年度）  
森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
評価報告書

ふるさと創生課

# 森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

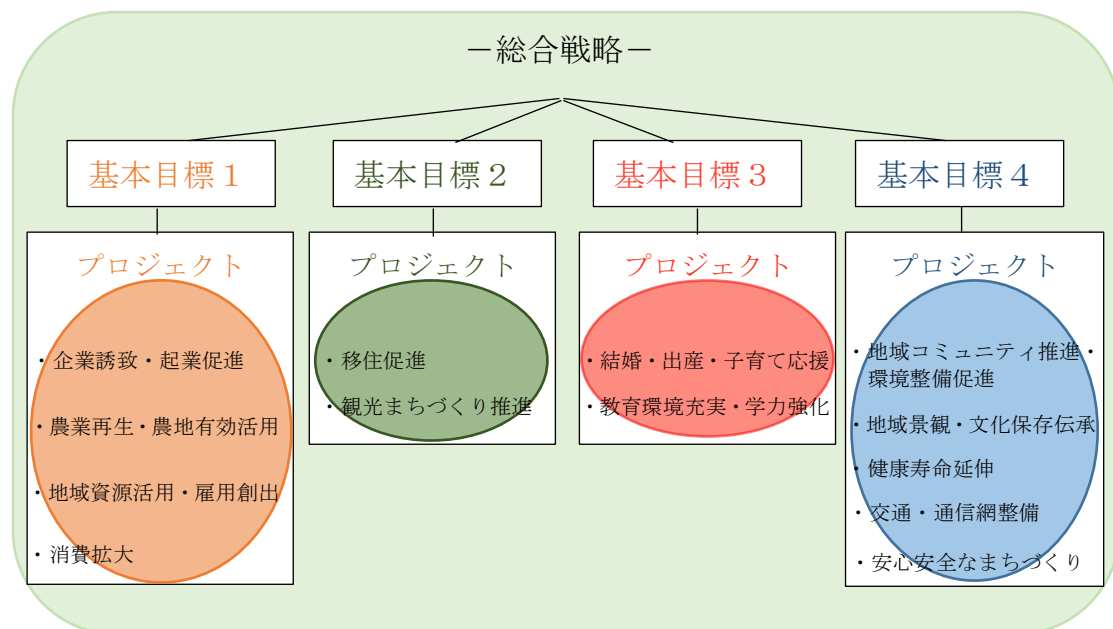
## 1 趣旨

森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略という。）は、「森の国総合戦略本部」、「松野町まちづくり委員会」等と連携を図りながら、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）といった一連のサイクルを確立し、総合戦略を推進することとしております。

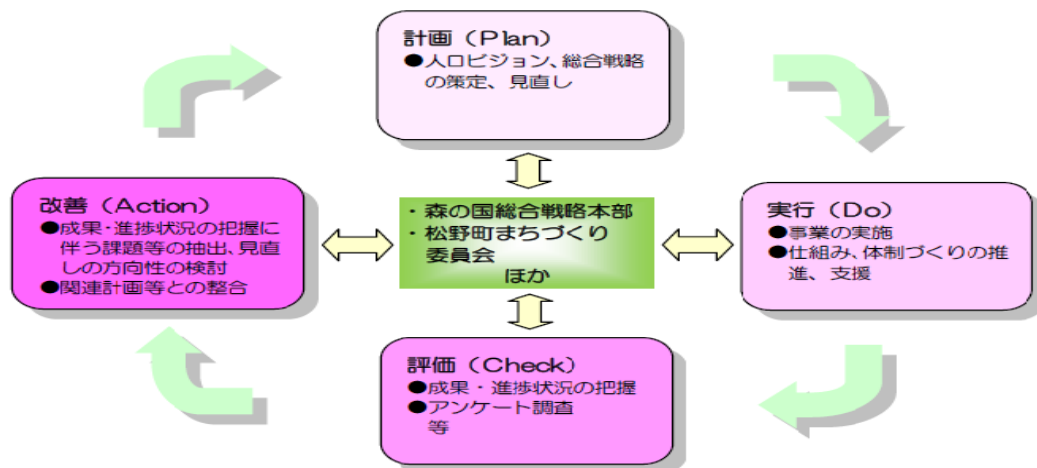
具体的には、毎年、施策に対する重要業績評価指標（KPI）の達成状況を確認するとともに、松野町まちづくり委員会等へ報告します。

（参考）

総合戦略の体系図



人口ビジョン、総合戦略のPDCA



## 2 総合戦略の基本目標の進捗状況について

総合戦略に記載されている基本目標の平成 29 年度における進捗状況については、以下のとおりです。

### (1) 基本目標の実績及び進捗区分について

総合戦略において、4つの基本目標で掲げた目標値について、目標達成に向けた進捗状況を3段階で評価しました。

なお、進捗区分等は目標値を踏まえ次のとおり設定しました。

また、下記区分になじまない目標値もあるが、進捗状況の目安を大まかに示したものである。

#### 【進捗区分等】

進捗区分	進捗内容
順調	29年度実績値が目標値の80%以上
概ね順調	29年度実績値が目標値の60%以上80%未満
努力を要する	29年度実績値が目標値の60%未満
実績値なし	年度途中等で実績の把握が不可

### ●基本目標1：豊かさと賑わいの創出事業

「地域資源を活用して豊かさと賑わいを創造する」

数値目標	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
従業地による就業者数の減少を抑制する <u>目標値：1,300人（H32）</u> 基準値：1,574人（H22）	1,510人	H32 国勢調査による	<u>H32 国勢調査による</u>	実績値なし

（数値目標の説明）

- ・従業地による就業者数：国勢調査における松野町で働いている就業者数

●基本目標2：新しい風おこし事業

「都市部から松野町への新しい人の流れを生み出す」

数値目標	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
女性（50歳未満）の1年間の 転入と転出の差（社会増減）を 均衡させる 目標値：±0人（H31） 基準値：▲13人（H26）	+43 (+28)※	+14 (▲2)※	▲29 (▲17)※	努力を 要する

（数値目標の説明）

※外国人を除いた数字

- ・転入と転出：住民基本台帳ベースの社会流出（転出）と社会流入（転入）

●基本目標3：若い芽吹き支援事業

「若い世代の結婚・出産・子育てを応援する」

数値目標	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
合計特殊出生率を増加させる 目標値：1.6人（H31） 基準値：1.58人 （H20～H24）	1.00	1.34	1.76	順調

（数値目標の説明）

- ・合計特殊出生率：新生児の数を15歳から49歳までの5歳階級別女性人口で除した数字

●基本目標4：安心安全の定住環境づくり事業

「ずっと暮らしたいと思えるふるさつをつくる」

数値目標	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
協働のまちづくり事業の実施 目標値：20件（H31） 基準値：14件（H26）	9件	11件	6件	努力を 要する

（数値目標の説明）

- ・住民による自主的な取り組みとして実施された協働のまちづくり活動の件数

(2) 基本目標の進捗状況の総合分析について

基本目標	総合分析
<p>基本目標 1 豊かさと賑わいの創出事業 「地域資源を活用して豊かさと賑わいを創造する」</p>	<p>○特産品の高付加価値化を目的とし、新規商品開発、既存商品のブラッシュアップに努めたほか、企業の誘致及び留置活動の支援などの施策を実施した。</p> <p>○実績及び評価については、実績の把握が困難であるため、「実績値なし」となった。</p> <p>○次回の国勢調査において実績値が明らかとなるため、目標達成に向けプロジェクトの各事業の効果が上がるよう引き続き事業に取り組んでいくことが重要である。</p>
<p>基本目標 2 新しい風おこし事業 「都市部から松野町への新しい人の流れを生み出す」</p>	<p>○交流人口の増加を契機とし、移住・定住人口の増加に繋げていく施策を実施した。</p> <p>○実績及び評価については、転出が転入を上回ったことから、「努力を要する」評価となった。</p> <p>○事業年度が進むごとに社会減が進んでおり、特に 29 年度は 20 歳～24 歳の女性の転出が多くみられた。この年代は就職に伴う移動の可能性も考えられるため、今後の動向に注視する必要がある。</p>
<p>基本目標 3 若い芽吹き支援事業 「若い世代の結婚・出産・子育てを応援する」</p>	<p>○結婚を考えている世代や子育て世代における負担や不安を軽減する施策を実施した。</p> <p>○実績及び評価については、実績が目標値を上回ったことから、「順調」の評価となった。</p> <p>○事業年度が進むごとに実績が伸びているため、引き続き事業に取り組む。</p>
<p>基本目標 4 安心安全の定住環境づくり事業 「ずっと暮らしたいと思えるふるさつをつくる」</p>	<p>○高齢化の進展に対応した温和で安心して暮らしていけるまちづくりの施策を実施した。</p> <p>○実績及び評価については、実績が目標値を下回ったことから、「努力を要する」評価となった。</p> <p>○事業年度によって実績の増減が見られるため、地域住民との協働の取り組みが図られるよう努力する必要がある。</p>

(3) プロジェクトの実績及び進捗区分について

プロジェクトで掲げた重要業績評価指標（KPI）の目標値について、目標達成に向けた進捗状況を3段階で評価しました。

なお、進捗区分等は目標値を踏まえ次のとおり設定しました。

また、下記区分になじまない目標値もあるが、進捗状況の目安を大まかに示したものである。

【進捗区分等】

進捗区分	進捗内容
順調	実績値が目標値の80%以上
概ね順調	実績値が目標値の60%以上80%未満
努力を要する	実績値が目標値の60%未満
実績値なし	年度途中で実績の把握が不可

【基本目標1 豊かさと賑わいの創出事業】

プロジェクト1		企業誘致・起業促進プロジェクト			
KPI	目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
企業誘致・起業等 に向けた相談件数	10件／5年 (H27～H31)	1件	3件	0件	努力を 要する
雇用創出数	70人／5年 (H27～H31)	0人	8人	4人	努力を 要する
事業名	事業実績・コメント				
企業誘致促進事業	27年度 (株)ロテックスジャパン森の国ファームファクトリー建築 28年度 (株)ロテックスジャパン森の国ファームファクトリー完成、 12月創業開始 29年度 (株)ロテックスジャパンに対し、企業立地奨励金、 雇用奨励金の交付				
民間企業チャレンジ 支援事業 (産業振興キックオフ 支援事業)	松野町商工会へ事業委託 27年度 7件 1,516,000円 28年度 3件 729,000円 29年度 3件 1,345,000円				
事業承継先紹介支援 官民連携事業	28年度に南予9市町による愛媛県南予地域官民連携事業 承継推進事業計画を策定し、情報共有を図っている。				
経営・起業金融支援 事業	27年度 新規融資 1件 3,000,000円 28年度 なし				

	29年度 中小企業振興資金の手続きの簡素化 新規融資 7件 19,260,000円
--	--

【基本目標1 豊かさと賑わいの創出事業】

プロジェクト2		農業再生・農地有効活用プロジェクト			
KPI	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
新規就農者数	10人／5年 (H27～H31)	2人	1人	2人	努力を要する
耕作放棄地・遊休農地の再生面積	15ha／5年 (H27～H31)	1ha	0.8ha	0.9ha	努力を要する
事業名	事業実績・コメント				
農地開発団地再生事業 (新規作目・加工用果実等栽培)	源吉兆庵への原材料供給のため、加工用果実の栽培拠点となる園地整備を実施した。また、遊休化している農地の再生と併せて事業を継続中であり29年度も園地整備を実施した。				
土づくりセンター整備事業 (堆肥製造・有機農法普及推進)	地元の廃材などを活用した土づくりセンターの整備に向け各種研修や勉強会などを行った。				
特産品伝承・販売促進事業	特産品の販売をより促進するため、29年度に町特産品販売促進協議会を組織し、県内外の販促活動、商談事業を実施した。町特産5品目の販売促進活動のために、29年度においてPRキャラクターを作成した。				
青年就農・担い手育成対策事業	鬼北農業指導班と連携し、新規就農事前研修会を開催している。				
6次産業化推進事業	農産物の高付加価値化を図るため、29年度より6次化アドバイザーの指導のもと、新規商品開発、既存商品のブラッシュアップを図っている。				

【基本目標1 豊かさとの販わいの創出事業】

プロジェクト3		地域資源活用・雇用創出プロジェクト			
K P I	目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
木質バイオマス活用量 (出荷時)	300 t/年 (H31)	265 t/年	250 t/年	288 t/年	順調
捕獲有害獣の製品化率	30% (H31)	26%	32%	40%	順調
事業名	事業実績・コメント				
エネルギー自給システム 整備事業 (木質バイオマス・小水力)	森の国まきステーションを拠点として、まきを中心とした木質バイオマス事業を継続して実践している。				
特用林産物生産振興事業	特用林産物への新規取組みとして、林研グループが主体となりミツマタ栽培に取組み中である。苗木購入費用について補助している。				
野生獣肉資源化事業 (ジビエ開発・普及)	NPO 法人森の息吹と連携し、ジビエの普及、獣肉の有効活用を図っている。新規の獣肉活用として、製品開発も継続中である。				
川魚料理文化継承事業	川魚料理文化を継承するため、アユ、ウナギの放流費用を広見川漁協、目黒川を守る会に助成した。				

【基本目標1 豊かさとの販わいの創出事業】

プロジェクト4		消費購買力拡大プロジェクト			
K P I	目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
地元消費喚起額	11,800 千円 (H31)	49,000 千円	-	-	順調
地域通貨によるサービス提供数	10 件/5 年 (H27~H31)	27	0	0	順調
事業名	事業実績・コメント				
プレミアム商品券・ふるさと旅行券発行事業	27 年度に松野町商工会と連携し、各種補助制度を活用し商品券を発行することで、域内外の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。				



基本目標1 (KPI)	順調	概ね順調	努力を要する	実績値なし
起業誘致・起業等に向けた相談件数			●	
雇用創出数			●	
新規就農者数			●	
耕作放棄地・遊休農地の再生面積			●	
木質バイオマス活用量（出荷時）	●			
捕獲有害獣の製品化率	●			
地元消費喚起額	●			
地域通貨によるサービス提供数	●			
計	4	0	4	0

【総合分析】

○基本目標1の重要業績評価指標（KPI）は、8項目中4項目が「順調」、4項目が「努力を要する」となった。

○企業誘致・起業促進プロジェクトにおいて、誘致促進や民間企業チャレンジ支援事業などに取り組んでいるが、誘致企業の人員配置計画が予定どおり進んでいないことや起業意欲の高まりが弱いことから目標値達成は困難な状況となっているが、継続して取り組んでいく必要がある。

【基本目標2 新しい風おこし事業】

プロジェクト1		移住促進プロジェクト			
KPI	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
移住に関する相談等の件数 （29年度目標値増、 30年度目標値増）	400件/5年 （H27～H31）	51件	120件	129件	概ね順調
移住世帯数 （30年度目標値増）	25世帯/5年 （H27～H31）	3世帯	2世帯	11世帯	概ね順調
移住希望訪問者数 （29年度目標値追加）	50件/5年 （H27～H31）	8件	8件	10件	努力を要する
事業名	事業実績・コメント				
定住住宅整備事業（住宅建設・リフォーム補助・移住者住宅改修支援）	住宅建築奨励金：27年度2件、28年度3件、29年度2件 定住促進住宅：世帯用1棟5戸を建設				

お試し移住プログラム推進事業	移住支援コーディネーターを配置し、移住者の更なる増加を図るため、目標値である相談件数及び世帯数を上方修正した。
移住支援コーディネーター設置事業	
空き家等情報バンク事業	29年度に空き家バンクを開設した。

## 【基本目標2 新しい風おこし事業】

プロジェクト2		観光まちづくり推進プロジェクト			
KPI	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
観光入込み客数	466,000人/年 (H31)	412,000人	446,000人	421,000人	順調
※DMO組織の拠点づくり	1箇所/5年 (H27～H31)	-	0	0	努力を要する
事業名	事業実績・コメント				
グリーンツーリズム推進事業	27年度から29年度にかけて、森の国グリーンツーリズムクラブとの連携及びツアー受入実践事業を中心に1泊2日の体験ツアー、1日農村体験ツアーなどを実施した。				
アウトドア体験事業	27年度から29年度にかけて、シャワートレッキングやロープ木登りなどアウトドア体験を滑床を愛する会や松野まちづくり青年会議等の団体と連携して実施。				
観光施設リニューアル事業	27年度に森の国ぽっぽ温泉をリニューアル。				
森の国DMO運営事業（観光まちづくりプラットホーム）	28～29年度に大学教授、先駆者を交えた町内観光事業者との協議を行った。				
創業支援事業	27年度からの宇和島市・鬼北町・愛南町との創業支援計画に基づき、創業支援窓口を開設している。				
地域資源を活用した広域観光振興事業	27年度から29年度にかけて、予土県境という地域資源を活かして、戦国武者伝走や予土うまいもの合戦などイベント等を実施した。				
自転車新文化推進事業	28～29年度に松野四万十バイクレース（MSBR）のほか、県や近隣市町と連携して2リバービューライドを実施。				

※Destination Management/Marketing Organizationの略称で、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体のことをいう。

基本目標2(KPI)	順調	概ね順調	努力を要する	実績値なし
移住に関する相談等の件数		●		
移住世帯数		●		
移住希望訪問者数			●	
観光入込み客数	●			
DMO組織の拠点づくり			●	
計	1	2	2	0

【総合分析】

○基本目標2の重要業績評価指標(KPI)は、5項目中1項目が「順調」、2項目が「概ね順調」、2項目が「努力を要する」となった。

○移住に関する相談等の件数は、当初計画の目標値から200件増加、移住世帯数は当初計画の目標値から5件増加しているほか、移住希望訪問者数を新たにKPIに追加するなど、移住については積極的な取り組みが行われており、事業効果も高く継続して実施していく。

【基本目標3 若い芽吹き支援事業】

プロジェクト1		結婚・出産・子育て応援プロジェクト			
KPI	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
小学校入学者数	25人/年 (H31)	18人	22人	27人	順調
結婚支援による成婚件数	30件/5年 (H27~H31)	—	—	0	努力を要する
事業名	事業実績・コメント				
婚活イベント開催事業	えひめ結婚支援センターと連携し、H30年1月~3月までの間、月1回、会員制のお見合いシステム「愛結び」のサテライト会場を開設した。				
結婚・出産お祝い事業	結婚祝金：27年度2件、28年度6件、29年度7件 出産祝金：27年度3件、28年度7件、29年度17件				
不妊治療費助成事業	ホームページ、広報等で周知している。				
少子化対策助成事業 (子ども医療費助成)	27年度 受給者数323人、助成額7,521,226円 28年度 受給者数360人、助成額7,885,969円 29年度 受給者数371人、助成額7,519,792円				

保育料負担軽減事業	国徴収基準額との差額 27年度：10,334,640円軽減 28年度：15,729,960円軽減 29年度：17,634,560円軽減
学校給食費補助事業	全小中学校児童生徒に対し半額補助を行い、子育て世帯の負担軽減を行った。（小中年間平均183回）また、給食の充実及び地産地消の推進を目的として、週に1回、小中学生一人あたり100円の補助を行った。
放課後児童クラブ運営事業	児童クラブを利用した児童数 27年度 24名 28年度 28名 29年度 36名
ひとり親家庭医療費給付事業	27年度 受給者数101人、助成額3,170,561円 28年度 受給者数95人、助成額3,621,808円 29年度 受給者数101人、助成額2,788,748円
乳幼児用紙おむつ券交付事業（第1子分） （30年度事業追加）	29年度7件
任意予防接種費補助事業	ホームページ、広報のほか、赤ちゃん訪問時にも周知している。

### 【基本目標3 若い芽吹き支援事業】

プロジェクト2		教育環境充実・学力強化プロジェクト			
KPI	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
大規模な教育施設の整備充実	2件以上/5年 (H27～H31)	0件	0件	2件	順調
教員のICT活用指導力状況調査	国平均の +5ポイント(H31)	+10 ポイント	+9.0 ポイント	+13.2 ポイント	順調
事業名	事業実績・コメント				
小学校・給食施設等大規模改修事業	29年度から松野西小学校及び松野東小学校の2校の校舎大規模改修工事に着手し、松野西小学校については、分割発注した工事のうち、機械工事及び電気工事が完了した。				
ICT活用推進事業	ICTの効果的な活用について職員研修を行い、授業での積極的な活用を図った。				
小中学校総合学習活動事業	小中学校総合学習事業では、各校の特色ある「総合的な学習の時間」の学習を行った。				

人材育成基金助成・貸付事業	松野中学生3名がオーストラリアでホームステイによる語学研修を行った。
---------------	------------------------------------

※Information and Communication Technology の略称で、情報処理技術及び情報通信技術の総称であり、IT（情報技術）と同義語です。

基本目標3(KPI)	順調	概ね順調	努力を要する	実績値なし
小学校入学者数	●			
結婚支援による成婚件数			●	
大規模な教育施設の整備充実	●			
教員のICT活用指導力状況調査	●			
計	3	0	1	0

【総合分析】

○基本目標3の重要業績評価指標（KPI）は、4項目中3項目が「順調」、1項目が「努力を要する」となった。

○結婚支援による成婚件数は目標値を5年間で30件と設定しており、現在まで実績がない状況から、目標達成は非常に困難な状況となっている。このため、平成30年度からは、町単独での事業実施ではなく、定住自立圏共生ビジョンに基づき1市3町で「出会いの場創出事業（婚活イベント開催）」に取り組むこととしている。

○大規模な教育施設の設備充実として、目標値を5年間で2件以上としており、平成29年度から松野西小学校及び松野東小学校の工事に着手し、平成29年度中には松野西小学校では分割発注した工事のうち、機械工事及び電気工事が完了し、平成30年度には、小学校2校の全工事が完了予定である。

○教員のICT活用指導力状況調査の目標値は、国平均+5ポイントを設定しているが、これまで国平均を上回っており、事業効果が高く今後も目標値を下回らないよう高い水準の維持に努める。

【基本目標4 安心安全の定住環境づくり事業】

<b>プロジェクト1</b>		地域コミュニティ推進・環境整備促進プロジェクト			
K P I	目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
公民館施設等の利用者数	1,900人/年 (H31)	2,200人	2,000人	1,900人	順調
公民館施設等での講座・ 教室開催数	20回/年 (H31)	10回	12回	15回	概ね順調
事業名	事業実績・コメント				
協働のまちづくり地域提 案事業	27年度 まちづくり7件、ひとづくり1件、地域計画1 件 28年度 まちづくり7件、地域計画4件 29年度 まちづくり5件、地域計画1件				

【基本目標4 安心安全の定住環境づくり事業】

<b>プロジェクト2</b>		地域景観・文化保存伝承プロジェクト			
K P I	目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
歴史文化事業の体験者数	300人/年 (H31)	585人	632人	723人	順調
歴史文化施設等の来訪 者数	1,200人/年 (H31)	1,098人	1,223人	1,622人	順調
事業名	事業実績・コメント				
景観計画推進事業	届出件数 27年度5件、28年度2件、29年度3件				
文化的景観保存計画策 定事業	目黒地区の現地調査や調査指導委員会等を実施。				
史跡河後森城跡環境整 備事業	新城地区の間伐を中心とする景観整備、事業概要報告書の 刊行、整理作業等を実施。				
文化的景観「奥内の棚 田」環境整備事業	整備活用計画策定のための現地調査などを実施。				
町内文化財総合調査・ 整備・活用事業	河後森城跡の発掘調査、町内文化財の調査を実施し、町内 文化財のPRを目的に史跡見学会、現地説明会、体験学習 会等を実施。				
歴史的文化施設改修事 業	施設用地取得に向けた不動産鑑定の実施。				

歴史文化基本構想策定事業	計画策定のための現地調査や策定指導委員会等を実施。
芝不器男顕彰事業	不器男忌俳句大会を実施。
伝統芸能保存承継事業	吉野五つ鹿踊りに対して補助金の交付を行った。

#### 【基本目標4 安心安全の定住環境づくり事業】

プロジェクト3		健康寿命延伸プロジェクト			
K P I	目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	評価
特定健康診査の受診率	60% (H31)	51.1%	48.8%	47.1%	概ね順調
特定保健指導の実施率	60% (H31)	48.4%	50.0%	60.0%	順調
事業名	事業実績・コメント				
健康づくり・予防活動事業	乳幼児から高齢期までの切れ目のない健康づくり・予防活動を継続。地区ごとの保健推進会等との連携により、健康診査受診率、保健指導実施率の向上及び健診結果報告会に向けた取組みを実施。				
生活習慣病対策事業					
包括的支援事業（介護予防・総合相談・生活支援体制整備等）					
地域包括ケア体制推進事業（見守りネットワーク・在宅ケア・生きがい活動支援等）	高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、医療・介護・保健・福祉・地域の連携を強化する取組みを実施。				
包括医療推進事業（病診・診診連携・在宅医療等）					

【基本目標4 安心安全の定住環境づくり事業】

<b>プロジェクト4</b> 交通・通信網整備プロジェクト					
K P I	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
コミュニティバスの利用者数 (30年度文言修正)	14,900人/年(H31)	14,756人	13,635人	13,392人	順調
橋梁・舗装・道路構造物の補修箇所数 (29年度目標値追加)	22橋・21路線(H31)	3橋・1路線	1橋・2路線	3橋・1路線	努力を要する
観光施設のWi-Fiカバー率	80%以上(H31)	30%	100%	100%	順調
事業名	事業実績・コメント				
地域公共交通対策事業	住民の移動手段を確保し、外出支援の取組みを実施。				
橋梁・舗装・道路構造物維持管理事業	29年度に3橋1路線（路線は舗装）の維持管理を実施。				
Wi-Fi環境整備事業	28年度にWi-Fi化工事を実施し、観光施設のWi-Fiカバー率を100%とした。				

【基本目標4 安心安全の定住環境づくり事業】

<b>プロジェクト5</b> 安心安全なまちづくりプロジェクト					
K P I	目標値	27年度実績	28年度実績	29年度実績	評価
消防団員数	200人(H31)	160人	158人	161人	順調
防災士数 (29年度目標値増加)	30人(H31)	14人	21人	23人	概ね順調
交通死亡事故数	0人/年(H31)	1人	0人	0人	順調
事業名	事業実績・コメント				
消防団員確保対策キャラバン事業	町内小学校の運動会時に、消防団の活動を啓発すると同時に団員確保の啓発・促進を図った。				
女性消防団員加入促進事業	女性消防強化対策研修会、全国女性消防団員活性化大会への参加のほか、町女性職員への加入促進を図った。				
消防防災用施設等整備事業	各部落及び組に対して、消火栓用ホース等購入や防災用資機材整備などを実施した。				
防災士育成事業	各地区自主防災会に対する防災訓練等活動支援事業、退職消防団員の資格取得支援を実施した。				



自主防災会育成事業	各地区で防災訓練が実施された。
防犯・交通施設等整備事業	街路灯、カーブミラーの整備支援を行った。

基本目標4(KPI)	順調	概ね順調	努力を要する	実績値なし
公民館施設等の利用者数	●			
公民館施設等での講座・教室開催数		●		
歴史文化事業の体験者数	●			
歴史文化施設等の来訪者数	●			
特定健康診査の受診率		●		
特定保健指導の実施率	●			
コミュニティバスの利用者数	●			
橋梁・舗装・道路構造物の補修箇所数			●	
観光施設のWi-Fiカバー率	●			
消防団員数	●			
防災士数		●		
交通死亡事故数	●			
計	8	3	1	0

【総合分析】

○基本目標4の重要業績評価指標（KPI）は、12項目中8項目が「順調」、3項目が「概ね順調」、1項目が「努力を要する」となった。

○プロジェクト項目の約9割が目標達成に向けて順調に進捗しているが、橋梁・舗装・道路構造物の補修箇所数については、当初計画からKPIを新たに追加したものであるが、補修計画どおり財源が確保できていないため、目標達成は厳しい状況となっている。

【まとめ】

最後に、4つの基本目標にある重要業績評価指標（KPI）は全部で29項目あり、その進捗状況は「順調16件」、「概ね順調5件」、「努力を要する8件」、「実績値なし0件」となっている。

